

平成 21 年 8 月 4 日

各 位

住 所	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会 社 名	GMO インターネット株式会社
代 表 者	代表取締役会長兼社長 熊 谷 正 寿 (コード番号 9449 東証第一部)
問い合わせ先	専 務 取 締 役 安 田 昌 史 グ ル ー プ 管 理 部 門 統 括
T E L	0 3 - 5 4 5 6 - 2 5 5 5 (代)
U R L	<a href="http://www.gmo.jp">http://www.gmo.jp</a>

平成 21 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

1. 業績予想の修正 (平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日)

当社は、平成21年2月12日「平成20年12月期決算短信」において発表いたしました平成21年12月期(平成21年1月1日～平成21年12月31日)の第2四半期連結累計期間の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

(1) 平成 21 年 12 月期 第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成 21 年 2 月 12 日付 前回予想 (a)	18,500	1,900	1,850	800
今回発表 (b)	18,976	2,208	2,317	1,225
増減額 (b-a)	476	308	467	425
増減率	2.6%	16.2%	25.2%	53.1%
(ご参考) 前期実績 (20 年 12 月期 中間期)	17,204	2,001	1,815	973

(2) 修正の理由

WEB インフラ・EC 事業において、セキュリティ事業が、昨年度より取り組んできた代理店の開拓等が進み、国内・海外ともに売上が好調に推移いたしました。また、レンタルサーバー事業においても契約件数を順調に伸ばしております。さらに、厳しい経済環境の中、「節約消費」や「巣籠もり消費」と言われる消費行動を受け、決済事業が堅調に推移いたしました。

インターネットメディア事業では、企業業績の低迷を主要因とした広告費抑制の環境下、広告代理事業における売上高が当初見込みを若干下回ることとなったものの、一方で、より費用対効果の高い J W o r d や S E O と いった S E M メディア販売が好調に推移し、インターネットメディア事業の

売上高を押し上げました。これらの結果、売上高は、前回予想比 476 百万円増加の 18,976 百万円となる見込みです。

また、連結子会社の合併による統合効果や継続的なコスト構造の見直しにより、販売費及び一般管理費を抑制いたしました。この結果、営業利益は、前回予想比 308 百万円増加の 2,208 百万円、経常利益は前回予想比 467 百万円増加の 2,317 百万円となる見込みです。

四半期純利益については、経常利益の増加に加え、連結子会社の合併による繰延税金資産の見直し等により、当初見込んでいた法人税等の負担率より実績の負担率が低くなると見込まれることから、前回予測比 425 百万円増加の 1,225 百万円となる見込みです。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では不確定な要素が多いため、当初見込みを据え置かせて頂いております。

本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実績の業績等は、業況の変更等により上記予想数値と異なる場合があります。

以上